

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州安曇野ハーフマラソン事業【安曇野流おもてなし事業】
事業主体 (連絡先)	信州安曇野ハーフマラソン実行委員会 実行委員会事務局：安曇野市商工観光部観光交流促進課 Tel:0263-82-3131
事業区分	特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	10,832,281円(うち支援金：5,000,000円)

事業内容

平成26年10月12日(日)に開催した信州安曇野ハーフマラソン・プレ大会を開催するに当たり、市内外から約1,000名のランナーを募集した。安曇野の「水」を核とした自然や人の魅力を楽しめるコースを設定し公式HPなどを立ち上げ情報発信するとともに、観光事業者や商工事業者との連携し、ランナー特典などによる観光誘客に向けた取り組みを実施した。

また、市制施行10周年に向けた機運と地域の一体感を醸成するため、市民参加型の大会として、市民ボランティアを募集し、約450名が給水所や会場でランナーへのおもてなしを実施した。さらに、市内保育園、幼稚園の園児が手作りした応援小旗を手に声援を送るなど、全市を挙げた沿道応援となるよう地域住民へ働きかけを行った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 1,000名を超えるランナーがエントリー、拾ヶ堰やわさび田のほりを走るコースにより、安曇野の魅力を発信できた。
- ② ランナーへのアンケートでは、ボランティアスタッフや沿道応援への評価が高く、おもてなしの意識が醸成された。
- ③ 県外参加者の割合が少なく(約2割)、大会参加に併せた市内の宿泊施設や観光施設、飲食店等への効果については限定的であった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成27年度、いよいよ第1回大会として、全国から5,000名のランナーを募集する。課題となった県外のランナーを増加させるため、全国に向けたPRを強化していくとともに、地域経済への波及効果が出るような取り組みを行う。また、地域住民にとっても安曇野の風景や沿道での応援などが、ランナーへの大きな魅力となることが再認識された。次回大会においては、さらに多くの地域住民が積極的・自発的に参加する、地域を代表するイベントとして定着するよう広報活動を実施していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【給水所でのボランティア活動】

【目標・ねらい】

- ① 安曇野の魅力を活かしたランナー募集(1,000名)
- ② 本大会に向けた地域住民の参加意識の醸成、課題の検証
- ③ 交流人口拡大による地域経済の活性化と観光の振興

※自己評価【C】

【理由】
 参加者人数の目標を達成し、大勢の地域住民をはじめとしたボランティアが大会運営に携わることで、次回大会に向けた検証の場とできた。一方で、交通規制等への地域の協力や、地域経済や観光に対する波及効果については限定的であったため。